

★卒業生に向けてプロジェクトは進みます…



現在のコロナ禍でも学校内の多くのプロジェクトは工夫をしながら進められています。中でも卒業生に向けてのプロジェクトはその企画、準備にも力が入るものです。放送委員会の企画「お祝いビデオレター」もその一つでしょう。代表委員会で話し合った結果、各学級ごとにメッセージビデオを作成することに決定しました。各学級が6年生にどんなことを伝えるか学級文化の見せどころです。

放送委員会の皆さんといっしょに盛り上げていきましょう！

★2年生「モンゴルについて知ろう」

2年生は国語「スーホの白い馬」の学習に関連してモンゴルの文化や生活についてオンラインで授業を行っています。この日の先生はモンゴル留学経験のある坂本先生と在日20年のマンダルワ先生です。二人の先生からは教育や習慣などのお話を聞きました。特にマンダルワ先生には馬頭琴の演奏もしていただきました。この学習で「スーホの白い馬」という物語のイメージがさらに広がったことでしょう。

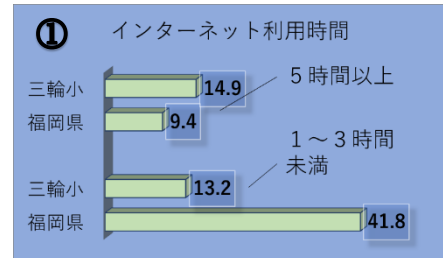


体育館でのオンライン

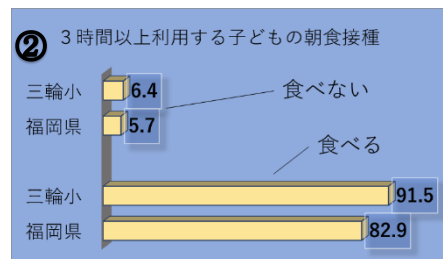
★ネット、メディアに関するアンケートから…いくつかの項目を分析してみました。

昨年12月に6年生対象に「ネットやメディアに関するアンケート」を実施しています。（筑前町人権・同和教育推進協議会 健康保障分科会実施）県との比較をしてみました。

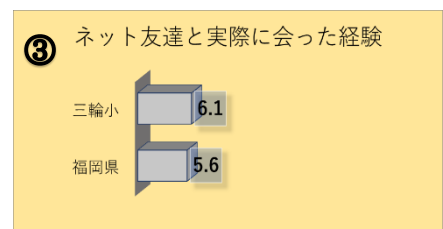
①はインターネットの利用時間を比較しています。1～3時間未満の子どもは県と比較すると13%程度で多くの子どもは利用時間は少ない傾向にあります。しかし5時間以上と回答した子は県の平均をかなり上回っています。



②はネット利用を3時間以上する子どもがどれだけ朝食をとっているかをみたまのものです。食べていると回答した子どもは9割以上と高いポイントでしたが食べない子どもは6.4%と僅かですが県を上回っています。※ネット利用3時間以下の子どもで「食べない」と回答した子は0%



③はネット友達と実際に会ったことがあるかの回答です。ここでは6.1%と僅かに県の平均を上回ってしまいました。その時の状況が明確ではありませんが、少し危機感のある結果だと感じます。



以上のように①～③までさまざまな課題を含んでいるデータだといえます。

SNSの利便性と危険性をしっかり理解してネット社会と「どう付き合っていくか…」を繰り返し学習していかねばなりません。